

平成23年9月定例議会

一般質問

(9月21日)

★児童・生徒の問題行動の実態について。これまでの対策と、今後の対応は。

「いじめ」は人の気持ちを思いやらずに安易に傷つけている実態がありました。「不登校」は情緒的混乱・親子関係・友人関係・無気力等の複雑な要因によるものがありました。「暴力行為」は攻撃的な言動・暴力で気持ちを表す事案や、物事を深く考えないで行動する面が見られました。対外的なものはありません。

教育委員会では、指導主事を配置し、校長会等で事案の説明・指示・研修等を行い、特に支援を必要とする児童生徒には、町費で教育支援員を配置しています。学校では実態把握を行い、

校内研修、職員共通理解、ケース会議を開催しています。県のスクールカウンセラー事業、スクールサポーター事業も活用しています。

小さな問題行動も丁寧に指導し、軽微な事案まで計上し、解消率を重視し、これまでの取り組みを継続して、学校間や保護者との連携をさらに強化します。

★中学校統合問題の進捗状況は。

5年を用途に同時統合する方針を各地域の保護者に説明しましたが、2校案の再検討・通学時間の問題・小規模校のメリット等のご意見をいただき、協議の時間をいただけるようお願いしています。今年6月には鏡野中学

校保護者に現況等を説明し、理解をお願いしました。今後は、協議の場を設定し、できるだけ早い時期に実施します。また、鏡野中学校のオープンスクールや部活動の合同実施もできるよう学校との調整を進めており、保護者の理解を得られた後に、地域全体への説明を行います。準備委員会の立ち上げは23年度中を目標に進めています。

★株未来奥津の再建について。

賞与を前年対比で65%減額し、退職金は会社都合での大量解雇であることから、さまざまな経緯を考慮して支給しています。全体を2人の課長でまとめっており、取締役が職員研修会等にのぞいて意識の喚起を行っています。新規借入金等はありません。年度末の現金・預金残高は、5,943万円余です。今年度の事業運営は、不採算事業からの撤退と大幅な人員削減を行い、懸命に取り組んでいますので、今しばらく様子を見てください。借入金の返済は、計画どおり履行します。

★予想される東海・東南海・南海の3連動地震等を見据えた県の防災計画見直しを受けて、本町の地域防災計画をどう変更するのか。

県及び関係機関の意見を聞きながら、国が示す被害想定に基づき、地域防災計画の再評価を行います。

★台風12号による町の被害状況、被害額、復旧計画は。

9月14日までの集計の件数と被害額、土木関係は、河川災害6件、3,230千円、道路災害15件、4,090千円、合計21件、7,320千円です。農林関係は、農業用施設災害5件、3,400千円、農地災害15件、8,400千円、林道災害16件、38,500千円、合計36件、50,300千円となり、土木・農林を合わせて57件、57,620千円です。補助事業に該当する災害の復旧計画は、申請に向けた準備に取り掛かっています。補助事業に該当しない規模の災害は、単独災害、重機借り上げ等で対応します。

★災害の情報提供に有線テレビ・インターネット・告知放送を活用すべきでは。

有線テレビでは、音声告知放送や文字放送で周知していますが、民放局と違い、積極的に被災地に向向いての、リアルタイム映像の配信は行っていない。その都度情報をいただき、緊急放送を流すことは可能ですが、告知放送設備は奥津・上齋原・富地域しか整備されていないため、鏡野地域には流すことができません。3地域の告知放送設備を使用すれば、遠隔操作により携帯電話や一般電話から告知することができ、緊急時の対応として活用できるシステムとなっています。的確な情報提供ができるシステムの構築を検討します。

★鏡野地域の緊急時はどのような方法で告知するのか。設備があるのか。

北部3地域と同じシステムを導入し、町内同じサービスを提供することが最良と考えています。こうした整備をすべく方策を検討しています